

大学で「障害」を考える。

これには学問や専門的な知見・実践、そして生活の中で自然に考えるなど様々な方法があり、「障害」が多様であるように考え方や方法も多様です。

DRC セミナーでは、「障害」について「知りたいことや考えたいこと」、「知ってもらいたいことや考えてもらいたいこと」をテーマにして、このような営みを大学の日常・文化のひとつにしたいと考えています。

#2 対話を生み出す体験をつくる

／一般社団法人 Dialogue Japan Society

内容：

見えないからこそ、みえるもの。聞こえないからこそ、聴こえるもの。

世代。ハンディキャップ。文化。宗教。民族。世の中を分断しているたくさんのもので、出会いと対話によってつなぎ、ダイバーシティを体験するミュージアムを運営されている Dialogue Japan Society と一緒にトークセッションを行います。
ナビゲーターは DRC チーフコーディネーターの村田です。

※一般社団法人 Dialogue Japan Society

<https://djs.dialogue.or.jp/>



日時：

2022 年 10 月 20 日（木）18 時 30 分～19 時 45 分 [18 時 15 分 受付開始]

場所：

国際科学イノベーション棟 1 階ラウンジ

対象：

京都大学の学部生・大学院生、教職員（定員 35 名）

申込方法：

10 月 19 日（水）までに下記 Google フォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/1EbUSHUNkMGw9Kst7>（右記 QR コードからもアクセスできます）



※ 情報保障として文字通訳があります。その他、参加にあたって配慮が必要な場合は 2 週間前までに
お申し込みの上、申込フォームにてその旨お知らせください。

備考：

- ・ 定員に達した場合、期間中でも申込を締め切る場合がありますのでご了承ください。
- ・ 途中入室・途中退室可能です。

問い合わせ先：

京都大学 学生総合支援機構 障害学生支援部門（DRC）

電話：075-753-2317 メール：drc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp